

CSR 活動のひとつとして「フードバンク」への食品寄贈をスタート

2018年5月30日、福岡県庁にて、ピエトロは県内の3つのフードバンクに食品を寄贈する支援活動のスタートに際し、合意締結式に臨みました。今後、弊社では、出荷期限切れ等、食品ロスとなる商品をフードバンクに寄贈し、支援活動を継続して参ります。



福岡県内の3つのフードバンクの代表者と、
ピエトロ代表取締役社長 高橋泰行(左から2番目)との合意締結式

●フードバンク活動とは (農林水産省 食料産業局 資料より引用)

フードバンクでは、印字ミス・規格外品・包装の破損、定番カットなどで、通常の販売が困難になった食品を食品関連企業等から引き取り、生活困窮者、社会福祉施設やこども食堂などに無償提供しています。

[ピエトロが食品を寄贈する福岡県内の3つのフードバンク]

- ・特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- ・特定非営利活動法人フードバンク福岡
- ・ふくおか筑紫フードバンク運営委員会

●今回の支援に至る経緯

今回の支援は、2015年4月から、ピエトロの製造本部を中心に始まった「もったいない活動」から生まれました。ピエトロドレッシングは、レストランの厨房生まれであるため、保存料等を使用せず“作りたて”の味わいを大切にしています。従いまして、ドレッシングの賞味期限は短く(製造日から3ヶ月)、商品を販売先に出荷する期限が製造後1カ月弱となります。綿密な計画のもとにドレッシングを生産していても、やむを得ず出荷期限を超えてしまう場合があります。こうした商品の扱いについて、およそ一年間、製造本部で様々な意見交換を重ねた結果、「フードバンクへの食品寄贈」という方法で、食品ロスを削減することになりました。